【責任者向けプログラム】

令和８年度第３回（10月開催）

業界別サイバーレジリエンス強化演習 CyberREX（サイバーレックス）

ご案内資料

2026年7月

対象業界

食品・化学、金属・鉄鋼・素材、
産業機械（電気・電子・機械）、
プラント・設備・建設、船舶・物流、

※ 詳細は次ページの「対象業界・対象者」をご覧ください。

※ **CyberREX :** Cyber Resilience Enhancement eXercise by industry

※ 本演習は、情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）の**実践講習**としても参加できます。
https://www.ipa.go.jp/jinzai/riss/forriss/koushu/jissen.html

独立行政法人
情報処理推進機構
産業サイバーセキュリティセンター

業界特性を意識した経営課題解決のためのセキュリティ戦略

高まる「サイバーインシデント」の脅威、あなたの部門の備えは万全ですか？

対象業界・対象者

- **対象業界：** 食品・化学、金属・鉄鋼・素材、産業機械(電気・電子・機械)、プラント・設備・建設、船舶・物流
  （上記に係る制御システムのユーザー企業・系列企業、当該制御システムのハードウェア/ソフトウエアベンダー企業が対象）
- **対象者：** 上記企業において下記の方が対象
  - ✓ CISOに相当する役割を担っている方
  - ✓ IT部門、生産部門などの責任者・マネージャークラスの方

※ 本演習は、日本の社会インフラ・産業基盤を守ることを目的に設計されたプログラムです。日本の産業システムに関わる企業に所属し、日本国籍を有すること、募集の対象業界・対象者に該当することを条件としています。当該条件を満たさない場合、又は円滑な受講が困難と見なされる場合は、受講をお断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

※ 身体の不自由な方は受講可能かどうかを事前にお問い合わせください。また、どのような配慮があるか、確認を希望される場合もお問い合わせください。

日程・会場

- **日程**：令和８年10月21日（水）　～　10月22日（木）
- **場所**：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）
  大阪府大阪市北区中之島５－３－51　10階　会議室1009
  【アクセス】 https://www.gco.jp/visitor/access/

受講料・定員

- **受講料**：一般の方：８万８千円（税込）　　登録セキスペ(実践講習)：８万円（非課税）
  ※受講料には、交通費・食事代は含みません。
- **定員**：最大３０名
  ※定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます。最少催行人数は１０名です。

本演習の目的・特徴

サイバーレジリエンスとは
サイバーセキュリティ・インシデントにかかわる
企業組織全体の**対応力・回復力・復元力**

目的

- サイバーレジリエンス能力を強化した人材を育成し
  企業組織の強靭化を図ること

特徴

- **業界別に仮想企業を想定したシナリオ**による
  実践的な演習形式を中心とするトレーニング
- **最新の国内外の事例や動向**を踏まえ、
  新規シナリオを随時追加。企業の安全を確保するとともに、
  情報処理安全確保支援士の実践講習としても活用可能
- 海外子会社、系列企業、サプライチェーン等のビジネスパートナーが
  直面する**サイバーセキュリティ規制やガイドライン等を解説**する集中講義

過去の演習シナリオ例

- VPN装置の脆弱性とランサムウェア感染
- AI監視によるインシデント
- 帰省ラッシュ時におけるDDoS攻撃への対応
- Wi-Fiのクラウド型コントローラー
- セキュリティ情報のサプライチェーンへの懸念
- 外注先が用いていたBadSeek
- AI生成によるプログラムコードの脆弱性
- ブロードキャストストーム
- ドローンUTMへのDDoS

受講による効果

- 責任者クラスが認識すべき「サイバーセキュリティ課題」や「自社体制や規程等とのギャップ分析」への**理解度および対応力の向上**、「起こりうるリスクシナリオ」、「国内外の規制動向、海外事例」に対する**知見の蓄積**
- 受講者間および、講師・サイバーセキュリティ専門家・省庁など公的機関関係者との**人脈づくり、ネットワークの構築**

受講者の声

- **他社の方とディスカッション**できたことが、**非常に有益と感じました。**
- **最新動向**が整理されており、知識のアップデートに役立った。**シナリオが実践的**で良かった。
- 演習のテーマがたくさんの**最新インシデント**を事例にしており、有益であった。
- **実例**をもとに**シナリオ**が作成されていて、**現実味**があって演習に**没入しやすかった。**
- 同業界の方々との討議では**開示を憚ることなく正直に実状を話す**ことができ、大変有意義だった。
- 講義を通じて、**報道やメディアからは知りえなかったインシデント事例や脅威**を知ることができ、もっと目を向けるべき事項が多いことに気付かされた。
- **業態の近いメンバー**でチーム**議論**ができたので、**各社の取り組みや課題を共有**しながら議論でき、非常に参考になりました。

スケジュール（予定）

1日目 10:00～18:00	
10:00～11:00	**導入講義** －　本演習のねらい －　サイバーセキュリティとは －　インシデント発生動向
11:00～12:30	**シナリオ１** －　課題シナリオ選択 －　ディスカッション
12:30～13:30	**昼食休憩（※）**
13:30～14:40	**シナリオ１** －　ディスカッション（続き） －　発表資料作成
14:50～15:50	**グループ発表（1回目）**
16:00～18:00 (休憩10分含む)	**シナリオ２** －　ディスカッション －　発表資料作成
18:00～18:30	フリータイム（希望者のみ） －　名刺交換など

※一日の中で時間の区切りが変更する可能性があります。

2日目 9:30～17:45	
9:30～11:50 (休憩10分含む)	**シナリオ３** －　ディスカッション －　発表資料作成
12:00～12:30	**グループ発表（2回目）準備**
12:30～13:30	**昼食休憩（※）**
13:30～15:30	**グループ発表（２回目）**
15:45～17:30	**集中講義・総合討論・全体講評** －　規制・ガイドライン解説 －　国際標準解説 －　本演習のまとめ －　講師陣による講評
17:30～17:45	**IPA事務局からのご案内**

※ 演習時に**各グループ**で作成いただく**発表資料**は、**開催報告書**と併せて、演習開催後1か月以内に、受講者の方に送付する予定です。

講師概要

門林 雄基

奈良先端科学技術大学院大学
教授

- 産官学連携によるサイバーセキュリティ研究開発に25年以上、サイバーセキュリティ人材育成に15年以上にわたり従事
- 欧米セキュリティ専門機関とともにサイバーセキュリティ国際標準化を推進
  国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)におけるサイバーセキュリティ作業部会の主査を2013年より務め、20件の国際標準を成立
- 予測困難なサイバーリスクと対峙するために、情報交換とならんで、相互理解やプロフェッショナル人脈の重要性を説く

宮本 大輔

政策研究大学院大学 政策研究科
教授
奈良先端科学技術大学院大学
客員教授

- 東京大学情報基盤センター、奈良先端科学技術大学院大学を経て現職
  フィッシング対策研究およびセキュリティ人材育成に従事
- 日欧国際共同研究プロジェクトに参画
  ビッグデータと機械学習をセキュリティ用途に応用し、海外からも注目を集める
- 欧米セキュリティ専門機関とともにサイバーセキュリティ国際標準化を推進
  国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)においてフィッシング対策のための国際標準を成立

留意事項

- 「開催概要」のページの「対象業界・対象者」に記載した受講条件に従って、参加者の所属や役職、担当職務により、グループ編成を行います。

  募集対象業界からの申込者数が少ない場合、所属業界以外と合同のグループになる場合がございます。予めご了承ください。

- 本演習は、グループワークによって、仮想企業における対策立案や意思決定を議論していただきます。業界別に熟議し、サイバーセキュリティに係る課題を整理するため、自社の状況をお話しいただくことがございます。受講者のご判断により、開示できる範囲でご対応ください。

  なお、会社の状況等、機微な内容は参加者限りとするため、本演習に参加する受講者、講師、その他関係者には秘密保持誓約書にご署名いただきます。

- 災害等のやむを得ない事情により、IPAの判断で演習実施を中止することがあります。その場合でも、実施日の振替は行いません。中止した場合には、受講できなかった方へ受講料の返還等の措置を行います。ただし、演習中止に伴う受講できなかった方の不便、費用、その他の個人的損害についは何ら責任を負いません。

- その他詳細は、お申し込み後に別途ご連絡させていただきます。

募集期間とお申し込み方法

募集期間

令和８年度第３回業界別サイバーレジリエンス強化演習（2026年10月21日～22日開催）の募集期間は、**2026年９月18日（金）17時**まで、**入金は2026年10月2日（金）17時**までといたします。入金方法については、申込受付後、IPAから請求書をお送りしますので、銀行振込にてお支払いください。

※ 募集定員に到達し次第、募集を締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

お申し込み方法

WEBフォーム上の受講申込書・事前ヒアリングシートに必要事項をご記入いただき、お申し込みください。

※　事前ヒアリングシートも提出が必須となります。受講される方ご本人がご回答ください。
※　お申し込みいただきましたら、担当者よりご連絡差し上げます。

お申し込みURL

◆　一般の方（登録セキスペの方が実践講習として申込まない場合も含む）はこちら
https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberrex/2026-3.html

◆　登録セキスペの方 (実践講習) はこちら
https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberrex/riss-2026-3.html

※　原則として、お申し込み後の受講区分（一般／実践講習）の変更は受け付けておりません。
※　原則として、納入後の受講料はキャンセルされる場合でも、返金はいたしかねますので予めご了承ください。
※　受講料請求書は押印省略で発行いたします。押印希望の方は、受講可否の確定後にご連絡ください。

お問い合わせ先と個人情報の取り扱いについて

お問い合わせ先

電話　　：03-5978-7554（直通）
※受付時間：平日 9:30-18:00

メールアドレス：coe-promo-ap@ipa.go.jp

担当者　　：企画部 事業推進グループ（お申し込みに関すること）
：事業部 人材育成グループ（演習内容に関すること）

個人情報の取り扱いについて

弊機構は、本プログラムのお申し込みのためにご提出いただいた個人情報の適切な管理に努めております。
当該個人情報は、本プログラムを提供するために必要な範囲（事務処理および講師への当日受講者リストの配布等）で利用させていただきます。
個人情報保護についての詳細は下記URLからご確認ください。
https://www.ipa.go.jp/privacy/index.html